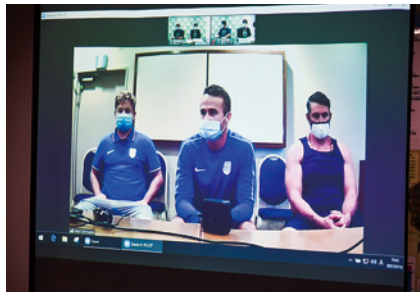


## オンライン歓迎会

7月16日にオンライン歓迎会を実施し、市長、議長、副市長、そして教育長が出席しました。市長と議長からの激励の言葉とともに、歓迎の印に特産品をプレゼントしました。

キプロス選手団代表のミラン選手は、大松山運動公園の走りやすさに触れ、下野市への感謝とともに東京オリンピックへの意気込みを語りました。



←↑ホテルのPCから市役所のスクリーンへ



## オンライン交流会

選手村に入村する前日（7月22日）、市内陸上クラブ小学生との交流会を実施しました。選手やコーチたちは、陸上クラブの児童からの質問にジョークを交えながら答え、アドバイスしていました。

交流会の最後、「アポストロス選手の筋肉が見たい!」との声に、アポストロス選手が二の腕の隆々とした筋肉を見せつける一幕もあり、とても盛り上がりました!

## キャンプを終えて

選手団の皆さんは、感染症対策の行動制限などがある中、大会に向けて真剣に、時にはなごやかに、調整を行っていました。大会は悔しい結果となりましたが、今後のご活躍を期待しています。

また、通訳ボランティアをはじめ市民の皆さまには、事前キャンプ実施へのご協力とご声援をいただき、ありがとうございました。

事前キャンプを通じて、多くの方にキプロス共和国を知っていただけたのではないのでしょうか。コロナ禍が落ち着いたなら、下野市民がキプロスを、キプロスの方が下野市を訪れ、交流の輪が続いていくことを願ってやみません。



選手のトレーニングを見守る子どもたち

## パラリンピック事前キャンプは中止

オリンピックに続き、8月にはキプロス共和国代表選手のパラリンピック事前キャンプを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の栃木県内における急激な感染拡大や医療体制のひっ迫状況を踏まえ、選手と市民の安全を守るため、中止となりました。

本市での事前キャンプは叶いませんでしたが、キプロス共和国選手団のTOKYOでの活躍を祈ります!

### キプロス共和国の主な代表選手

アントニス・アレステイ (Antonis Aresti) 選手 【種目：男子陸上400m (T47)】

本市での事前キャンプが予定されていましたが、北京パラ大会では男子陸上200mと400m (T46) で銀メダルを獲得している選手で、3回目のパラリンピック出場です。経験を活かして上位進出を狙います。

カロリナ・ペレンドリトゥ (Karolina Pelendritou) 選手 【種目：女子競泳100m平泳ぎ (SB12)】

アテネと北京パラ大会の100m平泳ぎ (SB12) で金メダル、北京パラ大会の100m個人メドレーで銅メダルを獲得した選手。キプロス共和国の代表選手として、オリンピック・パラリンピックを通して初めての金メダル受賞した「プールの女王」。9月1日(水)開催の予選に出場します。

マリア・マルコウ (Maria Markou) 選手 【種目：女子パワーリフティング69kg】

パラリンピックは初出場。今年度のワールドカップで銀メダルを獲得した期待の選手です。